

(様式5)

開放系栽培研究終了（中止）報告書

平成 24 年 4 月 6 日

宮崎大学長 殿

栽培研究責任者

氏 名 明石 良

研究課題名	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ T304-40 の 生物多様性影響評価試験	
研究実施期間 (注2)	平成 22 年 7 月 29 日 から 平成 24 年 4 月 6 日まで	
栽培研究責任者	所属・職名 フロンティア科学実験総合センター・教授 氏名 明石 良 印 Tel : 0985-58-7257 (外線) 7257 (内線) E-mail : rakashi@cc.miyazaki-u.ac.jp	
研究従事者 (注3)	所属部署名	氏 名
1.	フロンティア科学実験総合センター	明石 良
2.	フロンティア科学実験総合センター	権藤 崇裕
3.	フロンティア科学実験総合センター	橋口 正嗣
4.	農学部	田中 秀典
5.	フロンティア科学実験総合センター	石垣 元気
6.	農学部附属フィールドセンター	太田原 鉄秀
7.	大学院農学工学総合研究科	浅沼 陽子
8.	バイエルクロップサイエンス株式会社 研究開発本部バイオサイエンスグループ	在田 典弘
9.	バイエルクロップサイエンス株式会社 研究開発本部バイオサイエンスグループ	井上 公一
10.	バイエルクロップサイエンス株式会社 研究開発本部バイオサイエンスグループ	原 潤子

<p>栽培研究の 目的と概要 (注4)</p>	<p>1. 目的 本研究は、遺伝子組換え植物における生物多様性への影響等の評価システムを構築し、評価を行うことを目的としている。今回対象とする組換えワタはバイエル社が開発し、日本への綿実等の輸入承認申請を目指すものであり、客観的な評価を受けるために本学に共同研究を提案したものである。ワタは日本での商業栽培がほとんど行われていないこと等から、交雑リスクではなく野生化リスクだけを考慮することができるため良い研究対象である。供試する遺伝子組換えワタは、除草剤グルホシネート耐性およびチョウ目害虫抵抗性ワタ（改変 <i>bar</i>, <i>cry1Ab</i>, <i>Gossypium hirsutum</i> L.）（T304-40, OECD UI:BCS-GH004-7）（以下、「T304-40」とする。）であり、開放系栽培研究ほ場で栽培し非組換えワタと比較することで、組換えワタの野生化リスク等を評価する。</p> <p>2. 概要 本栽培研究では、宮崎大学の開放系栽培研究ほ場において、T304-40及び非組換えワタを栽培し、生育及び形態的特性、成体の越冬性、有害物質の産生性等について調査し、我が国の環境下における生物多様性影響を比較・検討する。</p>
<p>同種栽培作物との交雑に係わる 確認の内容</p>	<p>同種栽培作物との交雑性の確認は、開放系栽培研究ほ場周辺にはワタの栽培は行われておらず、日本ではその野生種は存在しないために、行う必要がない。また、開花期間中には訪花昆虫による飛散を防止するために防虫ネットで被覆して栽培しており、花粉の飛散および同種栽培作物との交雑は、考えられない。</p>

<p>研究に供した遺 伝子組換え作物 の保存又は処分 に係る事項 (注5)</p>	<p>保存 <input checked="" type="checkbox"/>する <input type="checkbox"/>しない</p> <p>保存する場合 保存責任者 所属・職名・氏名 フロンティア科学実験総合センター 教授 明石 良</p> <p>管理の対象となる遺伝子組換え植物の概要 (注7)</p> <p>遺伝子組換えワタ[系統名(種子重量)] T304-40 系統 (150 g)</p> <p>保存場所 フロンティア科学実験総合センター 3F 307 低温室</p> <p>保管状況 遺伝子組換え種子が漏出または拡散しないコンテナにいれ上記保存場所にて保存。なお保管コンテナおよび保存冷蔵庫には「遺伝子組換え種子保存」と明記(表示済み)。</p> <p>記録書類の保管 当該遺伝子組換え種子の保存記録は、フロンティア科学実験総合センター 2F 213 にて保存。</p>
	<p>譲渡 <input type="checkbox"/>する (実験終了以前に譲渡したものを含む) <input checked="" type="checkbox"/>しない</p> <p>譲渡する(した)場合 譲渡先 所属・氏名</p> <p>連絡先住所等</p> <p>譲渡物の内容</p>

注1. 当該研究の申請時と同一内容を記載すること。

注2. 研究を実施した期間(承認日から実際の終了日まで)を記入すること。

注3. 研究に従事した「栽培研究責任者」以外の者について記入すること。

注4. 当該研究の申請時と同一内容を記入すること。

注5. 保管している遺伝子組換え植物の種類・数量・保管場所・保管状況及びそれらに係わる記録書類の保管状況について簡明に記入すること。遺伝子組換え植物を他の研究に活用する場合は、その概要とそれに係わる遺伝子組換え実験申請状況等に関しても記入すること。

注6. 終了(中止)報告書提出後の保管状況の変更および譲渡については、栽培研究責任者が記録書類を保管し、第一種安全委員会から要望に応じ提出すること。

注7. その他第一種安全委員会から要望があった場合には別途説明資料を添付すること。